

※※日本薬局方 乳酸カルシウム水和物

乳酸カルシウム「ヒシヤマ」

CALCIUM LACTATE

貯 法：室温保存

使用期限：容器等に記載

※※注 意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	16000AMZ06070
薬価収載	1965年11月
販売開始	1965年11月
再評価結果	1986年12月

禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 高カルシウム血症の患者〔血中カルシウム濃度が更に上昇し、症状が悪化することがある。〕
- 腎結石のある患者〔症状が悪化することがある。〕
- 重篤な腎不全のある患者〔腎不全が悪化することがある。〕

※※【組成・性状】

1. 組成

販 売 名	乳酸カルシウム「ヒシヤマ」
※※ 有効成分 (1g中)	日本薬局方 乳酸カルシウム水和物 1g

2. 製剤の性状

性 状	白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある
-----	------------------------------

【効能・効果】

- 低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
テタニー
- 下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
妊婦・産婦の骨軟化症
- 発育期におけるカルシウム補給

【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人1回1gを1日2～5回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 活性型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
- 強心配糖体の投与を受けている患者〔強心配糖体の作用を増強するおそれがある。〕
- 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウム濃度が高くなる
ことがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は
尿中カルシウム濃度を検査することが望ましい。また、高
カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止するこ
と。

3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
※※ ジギタリス製剤 ・ジゴキシン ・ジギトキシン	ジギタリス中毒（不整脈、ショック）があらわれることがあるので、定期的にジギタリス中毒の有無、心電図検査を行い、必要に応じてジギタリス製剤の血中濃度を測定し、異常が認められた場合には、これらの薬剤の減量若しくは投与を中止すること。	これらの薬剤の作用を増強する。
※※ テトラサイクリン系抗生物質 ・テトラサイクリン ・ミノサイクリン等 ニューキノロン系抗菌剤 ・シプロフロキサシン ・トスフロキサシン ・ノルフロキサシン	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがある ので、同時服用を避け、併用する場合には、これらの薬剤服用後2時間以上あけるなど注意すること。	カルシウムイオンと難溶性のキレート形成し、これらの薬剤の吸収が阻害される。

4. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
消 化 器	便秘
長期投与 ^(注)	高カルシウム血症、結石症

注) このような異常があらわれた場合には、投与を中止すること。

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

※※【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：乳酸カルシウム水和物 (Calcium Lactate Hydrate)

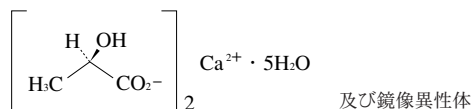
別 名：乳酸カルシウム

化学名：Monocalcium bis[(2*RS*)-2-hydroxypropanoate] pentahydrate

分子式：C₆H₁₀CaO₆・5H₂O

分子量：308.29

構造式：



性 状：・白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。

- ・1gは水20mLに徐々に溶け、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
- ・常温でやや風解し、120℃で無水物となる。

※※【取扱い上の注意】

安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、4年間〕の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、乳酸カルシウム「ヒシヤマ」は通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。¹⁾

【包 装】

500g

※※【主 要 文 献】

1) ニプロファーマ(株)：社内資料

※※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

ニプロファーマ株式会社 製品情報室
〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番7号
TEL 06-6228-8676
FAX 06-6231-9849